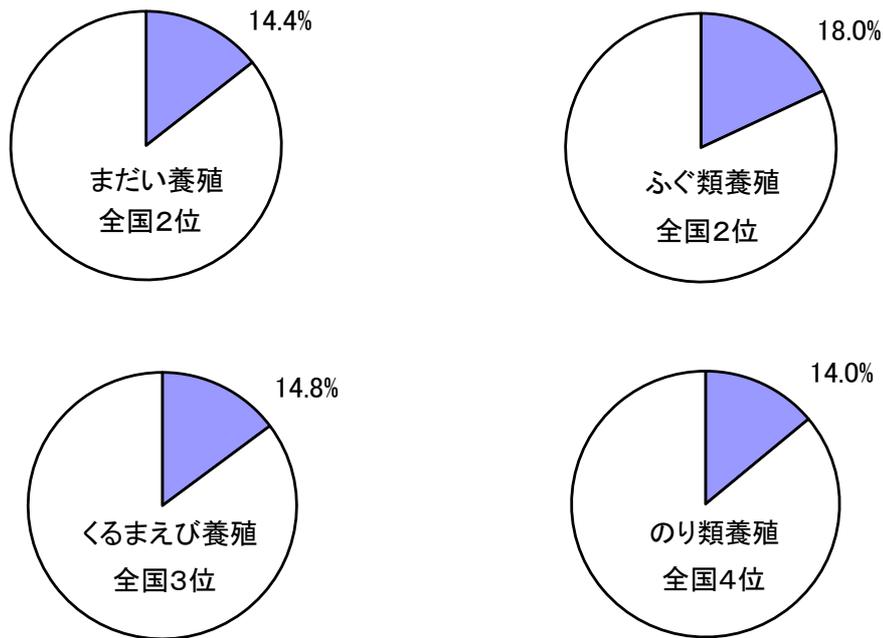


養殖種類別産出額の全国に占める割合（令和元年）



解 説

【概要】

5年毎の漁業センサスによると平成30年の県内海面漁業経営体数は2,829経営体で、前回の平成25年から638経営体減少した。

なお、令和元年の海面漁業・養殖業漁獲量は64,772トンで、前年に比べ3,340トン減少した。このうち、海面漁業は2,508トン減少し、海面養殖業は832トン減少した。

令和元年の産出額で見ると、381億円で2億円（0.6%）増加した。内訳は海面漁業が9.6%減少し、海面養殖業が2.6%増加した。

○漁業経営体

調査期日前1年間に、利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、水産動植物の採捕又は養殖の事業を営んだ世帯又は事業所をいう。

○海面漁業

海面において水産動植物を採捕する事業をいう。

○海面養殖業

海面又は陸上に設けられた施設において、海水を利用して水産動植物を集約的に育成、収穫する事業をいう。なお、海面において魚類を除く水産動植物の採苗を行う事業を含む。

○漁業・養殖業産出額

海面漁業生産統計調査結果から得られる魚種別生産量に（一社）漁業情報サービスセンター、主要産地の市場、関係団体等から得られる魚種別価格を乗じて推計した金額をいう。

資料出所	調査期日	調査周期
*1「漁業センサス」農林水産省	平成30年11月1日	5年
*2「漁業・養殖業生産統計」農林水産省	令和元年	毎年
*3、*4「漁業産出額」農林水産省	令和元年	毎年